

第 5 期琵琶湖に係る湖沼水質保全計画 における事業実施状況

平成 2 3 年 8 月 1 0 日

滋賀県琵琶湖環境部

第5期琵琶湖水質保全計画における事業実施状況

1. 水質保全に関する方針

項目	第5期計画の目標	平成18～22年度実施状況	関係課室
水質目標値 (平成22年度)	北湖 COD 2.9 mg/L(75%値) 2.6 mg/L(平均) T-N 0.30 mg/L 南湖 COD 4.2 mg/L(75%値) 3.1 mg/L(平均) T-N 0.33 mg/L T-P 0.018 mg/L	北湖 COD 2.9 mg/L(75%値) 2.6 mg/L(平均) T-N 0.24 mg/L 南湖 COD 5.0 mg/L(75%値) 3.8 mg/L(平均) T-N 0.28 mg/L T-P 0.016 mg/L [未確定]	

2. 水質の保全に資する事業

項目	第5期計画の目標	平成18～22年度実施状況	関係課室
(1) 下水道の整備	指定地域内処理人口 111万6千人 指定地域内行政人口 130万4千人 指定地域内普及率 85.6%	指定地域内処理人口 118万6千人 指定地域内行政人口 137万2千人 指定地域内普及率 86.4%	下水道課
(2) その他生活排水処理施設の整備			
農業集落排水施設の整備	整備集落数 409集落 [409集落] {105集落} 整備人口 16万2千人 [16万2千人] {4万2千人} *[]書きは、窒素高度処理(内数) { }書きは、りん高度処理(内数)	整備集落数 408集落 [408集落] { 105集落} 整備人口 16万2千人 [16万2千人] {4万2千人} *[]書きは、窒素高度処理(内数) { }書きは、りん高度処理(内数)	農村振興課
浄化槽等の整備 (参考)浄化槽汚泥処理施設	整備基数 30,279基 整備人口 16万9千人	整備基数 基(集計中) 整備人口 16万8千人 し尿浄化槽汚泥高度処理施設整備 1,224 kL/日	循環社会推進課
(3) 廃棄物処理施設の整備 ・ごみ処理施設 ・リサイクルプラザ ・埋立処分地施設(最終処分場)	18施設 1,878t/日 17施設 408t/日 27施設 102万2千m ³	18施設 1,878t/日 17施設 408t/日 新規整備施設は「資源化を行う施設」 27施設 102万2千m ³	循環社会推進課
(4) 湖沼の浄化対策			
浚渫による底質改善対策	木浜内湖において浚渫を実施	木浜内湖 3.13km ²	流域政策局
水草等の除去	水草等の刈り取りを実施 除去実施市町へ補助	水草刈り取り 11,718.6t 市町振興総合補助金 50,701千円	琵琶湖政策課 自治振興課

3. 水質の保全のための規制その他の措置

項目	第5期計画の目標	平成18～22年度実施状況	関係課室
(1) 工場・事業場排水対策			
排水規制	立入検査等による排水基準遵守の徹底 排水量10m ³ 以上の特定事業場に対する上乗せ排水基準による規制	規制対象に対する延べ3,653事業場の立入検査、延べ3,348箇所の排水検査	環境政策課 環境政策課
汚濁負荷量の規制	湖沼特定事業場の新增設に対する汚濁負荷量規制	汚濁負荷量規制対象について基準違反は認められない	環境政策課
指導等	規制対象外事業場に対する指導 下水道への接続促進	苦情処理時等において指導を実施	環境政策課
(2) 生活排水対策			
水濁法に基づく生活排水対策の促進	「生活排水対策推進計画」に基づく対策の推進 「県生活排水対策推進条例」に基づく浄化槽の設置促進		循環社会推進課 循環社会推進課
下水道への接続の促進	下水道への接続の啓発、指導	下水道フェアの開催、水環境科学館での啓発、情報発信・普及啓発 滋賀県公共下水道整備水洗化促進交付金	下水道課
浄化槽の適正な設置、管理の確保	浄化槽法、建築基準法に基づく適正設置、浄化槽法に基づく適正管理	浄化槽法7条検査 浄化槽法11条検査 建築基準法の浄化槽確認	循環社会推進課 京都府・市 建築課、京都府・市
水環境への負荷の少ないライフスタイルの確立	生活様式の見直し、環境に配慮した生活習慣を身につける運動の促進	みるエコおうみの普及 参加世帯数 2,190世帯	温暖化対策課
(3) 畜産に係る汚濁負荷対策			

家畜排せつ物の適正管理と利用促進	家畜排せつ物の堆肥化率 93%	家畜排せつ物の堆肥化率 78%	畜産課
畜舎の管理の適正化	構造および使用方法の規制の遵守徹底 排水規制対象事業場に対する規制 規制対象外畜舎に対する指導	実施 実施 苦情処理時等において指導を実施	畜産課
(4)魚類養殖に係る汚濁負荷対策	飼料の投与、へい死魚の適正処理等の 指導	苦情処理時等において指導を実施	水産課
(5)流出水対策			
農業地域対策	「県環境こだわり農業推進条例」等に 基づき、施肥量の適正化を実施		農業経営課
	「環境こだわり農産物」認証制度による 化学合成農薬および化学肥料の削減	環境こだわり農産物栽培面積 14,173ha	農業経営課
	「みずすまし構想」に基づき、農業用 水の反復利用、浄化池等による水質浄化	みずすまし推進協議会の活動支援 12流域ブロック	農村振興課
	もみ殻、家畜ふん尿等の資源循環型シ ステム構築市町への支援	高島市における家畜ふん尿活用の取り 組みに支援 補助金 1,500千円	農政課
	京都府においては、府および市町村ご との「京都府環境にやさしい農業推進 基本方針」、「京都府における持続性 の高い農業生産方式の導入に関する指 針」に基づく、適正な施肥、田面水の 適正管理	農業改良普及センター等による実践、 指導	京都府
市街地対策	小水路の清掃、市街地排水浄化施設の 整備、透水性舗装の整備、雨水貯留浸 透施設の整備、雨水排水の地下浸透工 法の活用	守山栗東雨水幹線整備事業 供用面積 77.2ha 透水性舗装 約391千㎡(累計)	下水道課 道路課
流入河川等の直接浄化	一時貯留や内湖を活用した浄化施設の 整備	天神川一時貯留施設 山賀川・境川内湖拡幅	流域政策局
	生態系に配慮した多自然型川づくりによる 河川改修	延長 km(集計中)	流域政策局
	内湖の浚渫、植生浄化等を実施	琵琶湖(平湖、柳平湖)底泥浚渫 2.18ha 西の湖底泥浚渫 5.5ha	流域政策局
自然地域対策	森林等自然地域の適正管理、負荷の実 態把握	復旧治山 83箇所 58ha 予防治山 22箇所 15ha 防災林造成 20箇所 89ha 水源森林総合整備 10地域 387ha 奥地保安林保全緊急対策 27地域 262ha 防災対策総合治山 4地域 52ha 環境保全保安林整備等 42ha 造林事業 568ha	森林保全課
流出水対策地区における重点的な対 策の実施	赤野井湾流出水対策推進計画に基づく 負荷低減対策の推進	別掲	別掲
(6)緑地の保全その他湖辺の自然環境の 保護			
緑地の保全	生態系を構成する動植物、土壌等による 水質保全機能の研究		自然環境保全課
	関係諸制度の適確な運用による緑地の 保全、湖辺の自然環境の保護	自然公園区域、保安林区域内での開発 規制	関係課
		湖岸緑地の整備 びわこ地球市民の森の整備	都市計画課
湖辺の自然環境の保護	「琵琶湖のヨシ群落の保全に関する条 例」に基づく、ヨシ群落保全事業の実 施	ヨシ地造成、ヨシ刈り取り、活用 ヨシ地造成面積 11.75ha ヨシ有効活用	琵琶湖政策課 水産課 流域政策局
	湖辺の自然公園地域に設置されたトイレ の浄化施設の改良	鴨川勝野園地(荻の浜)公衆便所下水道 接続	自然環境保全課

4. その他水質保全のために必要な措置

項目	第5期計画の目標	平成18～22年度実施状況	関係課室
(1)公共用水域の水質監視	琵琶湖47地点、流入河川30地点における 水質監視 湖内の生態系の面からの富栄養化等の 水質動向の把握	水質の監視、測定の継続実施 プランクトン調査の継続実施	琵琶湖政策課
(2)水生生物の保全に係る水質環境基準 類型指定	県内河川における類型指定	琵琶湖の河川流入部における水質調査 の継続実施	琵琶湖政策課
(3)調査研究の推進	各種調査研究の推進		
	・汚濁負荷量と水質の関係を明らかに するための調査検討 ・生態系変動要因解明調査を実施	「琵琶湖流域統合管理モデル」による 施策効果の予測・評価および水質汚濁 メカニズムの解明のための調査・分析 を実施 湖岸環境の変遷、湖辺域生物の現況、 水草あり方などの調査研究を実施	琵琶湖政策課

	・下水道終末処理場における超高度処理の実証的な検討	湖南中部浄化センターにおいて、オゾン、生物活性炭処理プロセス機能、経済性について検討	下水道課
	・琵琶湖の環境保全に資する森林づくりに関する調査研究を実施	森林の状況と流出水量、水質の関係について調査研究を実施	森林政策課
	・環境こだわり農業の水質保全効果の評価のための調査を実施	環境こだわり農業の実施による環境負荷削減効果について調査を実施	農業経営課
	・底質改善事業の評価のための赤野井湾の底質や底生生物等のモニタリング調査を実施	赤野井湾内の底生生物についてモニタリング	流域政策局
(4)自然生態系の保全と自然浄化機能の回復			
森林・農地等の保全と利用	里山林、棚田、河畔林、急傾斜地の保全確保	農村振興総合整備事業 1地区	農村振興課
流域における対策	水源涵養、水質浄化機能に着目した適正な利用と管理による生態系保全と自然浄化機能の回復	県民に「ゆとり」と「やすらぎ」を提供するとともに、環境教育の場としても活用できるよう、ビオトープの整備を実施	
湖辺における対策	ヨシ群落の保全と植栽、自然護岸の再ビオトープのネットワーク形成	自然湖岸（ヨシ原）の再生 木の岡地区ビオトープの保全・整備	流域政策局
湖沼生態の保全と回復	固有の魚類等の種苗の放流	7種苗の放流（ニゴロブナ、ピワマス、ホンモロコ、ウナギ、ワタカ、ゲンゴロウブナ、コイ）	水産課
	外来魚の駆除・繁殖抑制	水産有害生物駆除事業によるブラックバス、ブルーギルの捕獲 延べ 2,190 t	水産課
	産卵繁殖場であるヨシ帯の造成	水産基盤整備事業によるヨシ帯の造成 延べ 7.1ha	水産課
	南湖、西の湖における水草の除去と湖底耕耘を実施	水草除去量 延べ 494.7 t	水産課
		湖底耕耘面積 延べ 150ha	水産課
(5)地域住民等の協力の確保			
地域住民等の参画の促進	河川整備計画策定時に河川流域ごとに「川づくり会議」を開催	河川整備計画策定時に圏域ごとに住民説明会を開催	流域政策局
	森林ボランティア活動を支援	支援件数 310件	森林政策課
	「びわ湖の日」に清掃美化活動を実施	H22年度活動件数 39件 参加人数 133,382人 計画期間中延べ参加人数 711,954人	循環社会推進課
環境学習の推進と環境保全活動の支援	環境学習活動への支援、リーダー養成等	相談件数 1,030件 リーダー養成講座受講人数 118人	環境政策課
流域協議会活動の推進	「マザーレイク21計画」に基づき、流域協議会の活動を支援	活動件数 件（集計中）	琵琶湖政策課
琵琶湖流域ネットワーク委員会活動の支援	流域協議会を核として多様な主体が進める水環境保全の取り組みの支援等を行う「琵琶湖流域ネットワーク委員会」の活動を支援	活動件数 件（集計中）	琵琶湖政策課
啓発活動	琵琶湖の水質状況、本計画の趣旨、内容等の普及啓発	出前講座等における出講数 19件	琵琶湖政策課
(6)南湖における水質保全対策	赤野井湾、中間水路、浮舟において水質保全対策を実施	浄化池、浄化型排水路、循環かんがい施設等を整備	耕地課
(7)南湖の再生プロジェクト	「琵琶湖・淀川流域圏の再生計画」に基づく南湖の再生プロジェクトを推進	国、地方等が連携し、浚渫跡地の環境改善事業等を実施	琵琶湖政策課
(8)関係地域計画との整合			
(9)事業者に対する助成	融資制度の活用による汚水処理施設の整備等の促進	実施中	商工政策課

第5期琵琶湖に係る湖沼水質保全計画（平成18～22年）の進捗状況

琵琶湖政策課

1. 水質目標値の達成状況（環境基準点）

(mg/l)

		平成17年度	平成22年度目標		過年度実績				
		実績	対策を講じ ない場合	対策を講じ た場合	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22
COD 75%値	北湖	3.0	3.0	2.9	2.5	2.9	3.0	3.0	2.9
	南湖	4.2	4.3	4.2	3.7	4.3	4.3	4.7	5.0
全窒素 年平均	北湖	0.32	0.33	0.30	0.30	0.27	0.26	0.27	0.25
	南湖	0.36	0.37	0.33	0.31	0.31	0.26	0.26	0.28
全りん 年平均	南湖	0.018	0.019	0.018	0.015	0.015	0.013	0.011	0.016

2. 水質の保全に資する事業

(1) 下水道整備計画

年度	指定地域内 行政人口	指定地域内 処理人口	指定地域 内普及率
平成17年度	1,346千人	1,090千人	81.0%
平成18年度	1,352千人	1,121千人	82.9%
平成19年度	1,359千人	1,143千人	84.1%
平成20年度	1,363千人	1,163千人	85.3%
平成21年度	1,368千人	1,176千人	86.0%
平成22年度	1,372千人	1,186千人	86.4%
平成22年度目標	1,304千人	1,116千人	85.6%
平成22年度(現状)	1,372千人	1,186千人	86.4%

(2) 農業集落排水施設整備(新設累積数)

年度	集落数	整備人口
平成17年度	400集落	160千人
平成18年度	400集落	160千人
平成19年度	401集落	161千人
平成20年度	408集落	162千人
平成21年度	408集落	162千人
平成22年度	408集落	162千人
平成22年度目標	408集落	162千人
平成22年度(現状)	407集落	108千人

注)平成22年度(現状)は処理人口。

(3) 合併処理浄化槽整備(新設累積数)

年度	合併処理浄 化槽数	整備人口
平成17年度	28,479基	165千人
平成18年度	28,731基	166千人
平成19年度	28,955基	166千人
平成20年度	29,186基	167千人
平成21年度	29,426基	167千人
平成22年度	29,658基	168千人
平成22年度目標	30,279基	169千人
平成22年度(現状)	-	100千人

注)平成22年度(現状)は処理人口。

(4) 家畜排せつ物の堆肥化率

年度	家畜排せつ物 の堆肥化率
平成17年度	81%
平成18年度	82%
平成19年度	84%
平成20年度	84%
平成21年度	83%
平成22年度	78%
平成22年度目標	93%

下水、農集排区域含む

(5) 廃棄物処理施設整備(新改築累積数)

年度	ごみ処理施設		リサイクルプラザ (粗大ごみ処理施設)		資源化を行う施設		埋立処分地施設 (最終処分場)	
	施設数	整備規模(t/日)	施設数	整備規模(t/日)	施設数	整備規模(t/日)	施設数	整備規模(m3)
平成17年度	17	1,698	15	396	18	142	27	1,022,000
平成18年度	17	1,698	15	396	20	154	27	1,022,000
平成19年度	18	1,878	15	396	20	154	27	1,022,000
平成20年度	18	1,878	15	396	20	154	27	1,022,000
平成21年度	18	1,878	15	396	20	154	27	1,022,000
平成22年度	18	1,878	15	396	20	154	27	1,022,000
平成22年度目標	18	1,878	15	396	20	154	27	1,022,000
平成22年度(現状)	14	1,569	12	346	19	155	15	1,357,154

赤野井湾流域流出水対策推進計画の進捗状況について

NO.1

	活 動 内 容	平成22年度実績	平成23年度予定	主 な 関 係 者
農業排水対策	(水稲) 流域における環境こだわり農業による生産を拡大する。 31ha(H18) 208ha(H22) 水稲作付けの17.3%	・水稲 208ha 【 JA集計 】 ・いちご 19a ・しゅんぎく 389a (水稲) 120haで実施 【 県集計 】	拡大に向け実施継続 120haで実施予定	守山南部土地改良区 法竜川沿岸土地改良区 JAおうみ富士 県(農業経営課)
	(麦) 緩効性肥料等による施肥改善を進め、肥料の流出負荷の削減を図る。	取り組みを拡大 (全体の約21% 約82ha)。 (麦作付 10月~6月)	・随時取り組みを拡大し、実施中。 100ha	
	農業用プラスチック類や不要農業の回収を実施する。	・廃プラ回収 平成22年12月10日・11日 (・不要農業回収 隔年で実施のため、平成22年度は実施しない。)	廃プラ回収 12月上旬実施予定(毎年継続) 不要農業回収 平成24年1月実施予定	JAおうみ富士 守山市近江米振興協会
	集落毎に農談会を開催し、浅水代掻きの実施や濁水流出防止等の啓発を行うとともに、濁水流出防止を啓発する看板を設置する。	・平成23年1月16日~2月14日に農談会を実施 【 JAおうみ富士 】 ・大型看板設置場所の提供 【 JAおうみ富士 】 ・のぼり旗、看板の設置 のぼり旗 6集落 設置農業組合 木浜、赤野井、矢島、杉江、石田、開発 ・看板 5集落 設置農業組合 木浜、赤野井、矢島、杉江、喜多 ・特大看板 H18作成 継続設置	・1月~3月に農談会を実施予定 【 JAおうみ富士 】 ・大型看板設置場所の提供予定 【 JAおうみ富士 】 ・のぼり旗、看板の設置(予定) のぼり旗 6集落 設置農業組合 木浜、赤野井、矢島、杉江、石田、開発 ・看板 5集落 設置農業組合 木浜、赤野井、矢島、杉江、喜多 ・特大看板 H18作成 継続設置	守山市
農業排水対策	ゆりかご水田事業(田にフナの稚魚を放流し、稲を育てる自然農法)を実施する。	5集落で実施：5月下旬~6月下旬(田植期から中干しまで) ・実施集落 赤野井町、木浜町、今浜町、幸津川町、川田町喜多 ・ 赤野井町 249 a ・ 木浜町 58 a ・ 今浜町 97 a ・ 幸津川町 56 a ・ 川田町喜多 18 a 合計 478 a ・稚魚の放流実施日 5/23~6/4 ・稚魚の放流数 10aあたり2万5千匹程度	5集落で実施(予定) ・実施時期 5月下旬~6月上旬(田植期から中干しまで) ・実施集落 赤野井町、木浜町、今浜町、幸津川町、川田町喜多	守山市
	「 世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策 」制度を活用し、田園の持つ豊かな自然環境やその基盤となる農地・農業用水等の保全を世代をつなぐ協働活動で推進し、その上に立て、環境こだわり農業を集落ぐるみで一体的かつ面的に取り組む。 ・木浜地区では地域ぐるみでの取り組みを平成19年度から本格的に活動を実施する。 ・他の地域においても制度の活用を推進する。	・喜多、開発、大曲、三宅、木浜、辻の各地区で「 世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策 」を実施予定(H19~H23) ・各集落に対し随時対応。	・喜多、開発、大曲、三宅、木浜、辻の各地区で「 世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策 」を実施予定(H19~H23) ・各集落に対し随時対応予定。	県(農業経営課、耕地課、農村振興課) 守山南部土地改良区 法竜川沿岸土地改良区 木浜自治会及び農業組合 JAおうみ富士
	循環かんがい施設の使用 ・守山南部地区(矢島町、赤野井町、石田町、十二里町、大林町、欲賀町、森川原町、山賀町、杉江町) ・木浜地区(木浜町)	県管事業で赤野井湾内湖の循環かんがい取水口の改修工事を実施した ・北部および南部のポンプにて用水期間(特に4月下旬から7月上旬まで)循環かんがいを実施	循環かんがい施設の運用を検討中 ・北部および南部のポンプにて用水期間(特に4月下旬から7月上旬まで)循環かんがいを実施	守山南部土地改良区 木浜の資源環境を守る会 木浜土地改良区
	循環かんがい施設を整備する。 水質保全対策事業 《 守山南部地区 》	・赤野井湾内湖循環取水口：改修済み ・山賀揚水機場：揚水機場改修済、吸水池(浄化池)造成工完了	・循環かんがい施設運転調整	県(耕地課)
農業排水対策	水生植物の植栽による多自然型排水路(浄化水路)を整備する。 水質保全対策事業 《 守山南部地区(赤野井町、矢島町) 》	・供用中	・供用中	
	汚濁物質の沈殿を促すための浄化池を設置する。 水質保全対策事業 《 守山南部地区(山賀町) 》	・造成工事	・供用開始	
市街地排水対策	守山栗東雨水幹線整備事業(守山市三宅町地先~栗東市山庭地先)で整備する管渠に降雨の一時貯留機能を持たすことにより、雨水流出に伴う汚濁を削減する。降雨終了後に、貯留水の上澄みは新守山川に放流し、管渠内に沈殿した汚濁負荷を多く含む水は汚水幹線管渠に排出し、湖南中部浄化センターで処理する。	H21.6より一部(L=2,600m)供用開始。 ノンポイント汚濁負荷除去および施設の最適運転のためのモニタリングを実施。	H21.6より守山市側(L=2,600m)は供用中。 なお、H22年度より、先線(市街化区域外の栗東市宅家工区)の工事に着手。	県(下水道課)
	雨水排水の一部を地下浸透させ、地下水のかん養や排水路から河川への排水負荷の軽減のため、県道・市道の透水性舗装の整備(歩道)を行う。 県道：歩道設置延長 4,180m、歩道幅 3m	県実施0m 草津守山線 用地買収 市施行 ・二町播磨田幹線道路改良工事 L = 330m w = 3.3~4.9m (両側) ・中野線歩道新設工事 L = 190m w = 2.5m (片側)	県実施予定 100m 草津守山線補助道路整備事業 用地買収、工事実施 L=100m、W=3.0m 市施行予定 ・二町播磨田幹線道路改良工事 L = 550m w = 3.5m~4.4m (両側) ・古高川田線道路改良工事 L = 440m w = 2.1~4.1m	守山市 県(道路課)
河川等の浄化対策	天神川、山賀川、堺川等の河口部において、出水時に河川水を一時貯留して汚濁物を沈殿・除去する一時貯留施設や内湖を活用して汚濁物の自然沈降を促す浄化施設を整備する。また、浄化機能を適切に維持するため、施設の適正な維持管理を実施する。	モニタリング調査 山賀・堺川流入河川対策実施 天神川流末処理実施	モニタリング調査 山賀・堺川流入河川対策実施	県(流域政策局)
	法竜川等では、出水時の対策に加え、平水時対策としてヨシ等の水生植物による植生浄化についても併せて検討する。	概略設計	詳細設計、用地調査	
	道の駅草津から堺川までの一部区間の堤脚水路が老朽化したため、改修に当たり、琵琶湖敷を利用して、環境配慮型の堤脚水路(ビオトープ型堤脚水路)に整備する。	・平成19年度に堤脚水路の再自然化(L 66m)と併せ琵琶湖敷地のビオトープ整備を実施(A 7,000m ²)。 ・平成20年度より魚類、植物、鳥類のモニタリングを実施。 ・平成20年度に湖岸道路における初期降雨による流出汚濁負荷削減のための浄化施設を整備し、モニタリングを実施。	・左記のモニタリングを継続実施	(独) 水資源機構琵琶湖開発総合管理所 県(琵琶湖再生課) (財) 淡海環境保全財団

赤野井湾流域流出水対策推進計画の進捗状況について

	活動内容	平成22年度実績	平成23年度予定	主な関係者
対策	河川の浚渫事業、水辺環境保全活動の支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・大林里中河川改修工事（浚渫工事含む L = 70m） ・案内川河床保全工事（浚渫工事含む、L = 45m） ・荒堀川他河川浚渫工事（L = 200m） ・準用河川大川環境整備工事（水草除去） 5,000㎡ ・元町里中河川浚渫工事（L = 120m） ・大曲里中河川浚渫工事（L = 50m） 	<ul style="list-style-type: none"> ・大正堀護岸保全工事（L = 80m） ・石田川河川改修工事（L = 50m） ・今浜里中河川改修工事（L = 150m） ・今宿川護岸回収工事（L = 25m） ・七郷川支流改修工事（L = 110m） 	守山市
河川等の浄化対策	間伐材や製材端材を原料とした木炭を使って川を蘇らせる実験に取り組む。	本項目を削除		NPO法人びわこ豊穰の郷
	年間を通じて河川に生き物が生息できるように水の溜れる非かんがい期に水を確保する方策を調査する。	守山市が進めている「中心市街地活性化事業」の「水辺遊歩道ネットワーク事業」に連携して、年間を通じての環境用水（常水）の確保を意見具申。	「水辺遊歩道ネットワーク」事業との連携の中で、行政・環境用水研究会等との協働で対策を検討する。	
	樋ノ口川、案内川、守山川、宮川池に揚水を放流する。	<p>揚水機の稼働</p> <p>樋ノ口川</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稼働時期 平成22年10月1日～平成23年3月31日 ・稼働時間 9時間/日 <p>案内川</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稼働時期 平成22年4月1日～平成23年3月31日 ・稼働時間 16時間/日 <p>守山川</p> <p>稼働停止中</p> <p>宮川池</p> <p>上流（壺池）の水を引き込む</p>	<p>揚水機の稼働（予定）</p> <p>樋ノ口川</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稼働時期 平成23年10月1日～平成24年3月31日 ・稼働時間 9時間/日 <p>案内川</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稼働時期 平成23年4月1日～平成24年3月31日 ・稼働時間 16時間/日 <p>守山川</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稼働時期 平成23年10月1日～平成24年3月31日 ・稼働時間 8時間/日 <p>宮川池</p> <p>上流（壺池）の水を引き込む</p>	守山市
水と緑の潤いのあるまちづくり事業として、自治会の設置する揚水ポンプの設置補助、電気料金の補助を行う。	<p>事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・揚水機の電気代補助 20自治会 ・揚水機の修繕代補助 1自治会 ・親水性の工作物の修繕代補助 1自治会 	<p>事業内容（予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・揚水機の電気代補助 20自治会 ・揚水機の修繕代補助 1自治会 ・親水性の工作物の新設補助 1自治会 	守山市	
河川等の浄化対策	河川等の清掃活動を実施する。 ・清掃、草刈り、底泥の除去等作業を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・4月～11月 1回/月の河川清掃 ・6月 樋ノ口川ヘドロ除去 ・7月と12月 町内一斉清掃 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月～11月 1回/月の河川清掃 ・6月 樋ノ口川ヘドロ除去 ・7月と12月 町内一斉清掃 	木浜自治会
	・木浜内湖の藻、浮草、ゴミ等の除去作業を実施する。 ・「自然の川づくり事業」に地域からの参加がさらに得られるよう広く展開を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・内湖、旧漁港周辺のごみ拾い ・早期の浮草除去作業の実施 ・「自田川モデル河川事業」を毎月1回定期実施 <ul style="list-style-type: none"> *レイカディア大学、かいつぶりハウス等他団体の参加増 *上流域、下流域の連携がすすんできた。 *生物多様性の復元がみられる *啓発・学習活動の実施。 ・地域の川づくり支援（勝部自治会等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・内湖、旧漁港周辺のごみ拾い ・早期の浮草除去作業の実施 ・「自田川モデル河川事業」を継続実施。 *本事業を活用して啓発活動の更なる展開をはかる。 ・地域の川づくり支援（勝部・古高自治会） ・「守山の水辺百選（豊穰の郷選定）」を活用して、地域の川への関心度の高揚をすすめる。 	木浜自治会 (内湖を考える会) NPO法人びわこ豊穰の郷
	・湖岸のゴミの除去作業を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・湖岸のゴミ除去作業を実施 5回/年程度 	<ul style="list-style-type: none"> ・湖岸のゴミ除去作業を実施 5回/年程度 	守山漁業協同組合
河川等の浄化対策	・市内の河川の清掃を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・河川愛護作業 自治会が河川清掃を実施 -実施日 7月11日、18日、25日 -実施自治会 66自治会 -搬入量 草 167,940kg 破砕 1,720kg 樹木 28,870kg ヘドロ 95㎡ ・ごみのない美しいまちづくり運動 自治会が町内の清掃を実施 -実施日 11月28日、12月5日、12日 -実施自治会 66自治会 -搬入量 草 99,570kg 破砕 9,990kg 樹木 27,020kg ヘドロ 90㎡ 	<ul style="list-style-type: none"> ・河川愛護作業 自治会が河川清掃を実施 -実施予定日 7月11日、18日、25日 ・ごみのない美しいまちづくり運動 自治会が町内の清掃を実施 -実施予定日 11月27日、12月4日、12月11日 	守山市
	暮らしの中での実践 ・環境への負荷の少ないライフスタイルの定着に向けてエコライフの普及啓発を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・第三次滋賀県環境総合計画別冊「淡海のくらし」配布（県内市町、関係者等） ・淡海のくらし普及版「もう爺さんの環境絵本」配布（県内小・中学校・県内セブンイレブン各店舗） 	<ul style="list-style-type: none"> ・第三次滋賀県環境総合計画別冊「淡海のくらし」の配布（必要に応じて） ・淡海のくらし普及版「もう爺さんの環境絵本」の配布（必要に応じて） 	県（環境政策課）
啓発事業及びその他の関連事業	・暮らしからでる汚れをできるだけ少なくするための取り組み方法について啓発を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・街頭啓発を実施（年3回） -ららぽーと守山（7月1日実施） -スター、丸善（11月24日実施） -西友、平和堂（12月1日実施） 		守山市消費生活研究会
	・水を汚さない、ゴミを出さない視点からエコキッチン革命に取り組むとともに、啓発を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通してエコキッチン革命の推進事業を実施 -総会や消費生活展にてパネル展示を行い、市民に水・ごみ問題に対する意識啓発を行った。 -8月3日には、親子料理教室にてエコキッチンについての話を参加者に啓発 -リーダー研修（水環境科学館を見学し、水の大切さ等について学習） ・消費生活展 3月14日（月）～3月18日（金） 市役所ロビーにて実施 		守山市消費生活研究会

赤野井湾流域流出水対策推進計画の進捗状況について

	活 動 内 容	平成22年度実績	平成23年度予定	主 な 関 係 者
啓発事業及びその他の関連事業	職域での実践 ・企業間で情報交換を行うことを目的とした環境情報交換会や経営層に働きかけることを目的とした環境トップセミナーを通して、水質保全の啓発を行う。	・地域別環境情報交換会 1回目 「水質事故防止訓練」 10月 南部（ダイハツディーゼル守山） 甲賀（王子特殊紙） 200名参加 2回目 行政との協働で、環境行政の動向と環境事故予防について意見交換 2月～3月 ・環境トップセミナー 7月15日（積水化学工業㈱滋賀水口工場にて） ・低炭素社会づくり推進に向けての基調講演 同社の環境活動全般についての研修 企業・事業経営者層60名参加 ・環境先進企業の見学研修会 9月 （パナソニック電工施設照明㈱春日工場） ・省エネ勉強会 1月・2月 100名参加 ・環境担当者研修会 3回/年×2会場で実施 約600名参加 11月、12月、3月 ・その他啓発活動 広報誌「こなん」3回発行、「環境管理の手引き」CD発行、環境情報の発信	・地域別環境情報交換会 1回目 「水質事故防止訓練」 9月（2箇所で開催予定） 2回目 行政と協働で、7地区で予定 24年1月～3月 ・環境トップセミナー 7月頃予定 ・環境担当者研修会 年間3回（各2会場） 8月～12月予定 ・環境担当者研修会 3回/年×2会場で予定 ・省エネ勉強会 10月 「低炭素社会づくり推進に向けて」 ・その他啓発活動 広報誌「こなん」発行、「環境管理の手引き」活用研修、環境情報の発信	湖南・甲賀環境協会
啓発事業及びその他の関連事業	・「こなん水環境フォーラム」の開催 南部地域で環境保全活動するNPOなどによる発表・交流の場とし、活動の輪を広げ住民が主役の琵琶湖保全の取り組みを発信する。	・こなん水環境フォーラム （平成23年3月12日開催） 会場：守山市生涯学習・教育支援センター（エルセンター） 参加者：約250名、パネル展示約51団体	・こなん水環境フォーラム （平成24年3月頃予定） 会場：未定 参加者：未定 びわ湖の日30周年事業のひとつとして実施する。	湖南流域環境保全協議会 （南部環境・総合事務所、草津・守山・栗東・野洲市共催）
	・環境保全のための学習を受けることにより子どもの頃から環境を保全していく意識を養う。	・緑をととした野外における自然学習の実施。 ・緑を保護し守り育てるための必要な活動の実施。 ・目田川モデル河川づくりへの参加。 ・河川環境茶園（岐阜市）の見学。	・緑を通じた野外における自然の学習の実施。 ・緑を保護し守り育てるための必要な活動の実施。 ・緑を通じた野外における自然の学習の実施。	守山市緑の少年団 （事務局：建設管理課）
	・「いかだくり」大会を通じて、小中学生に水質保全を学ぶ機会を設ける。 ・自然や環境について学ぶことと同時に、郷土への思いを育む事業を実施する。	・「野洲川冒険大会（いかだくり）」への運営協力 7月3日 いかだ作り教室 7月4日 いかだくり（悪天候により中止） いかだ作りを通じて、自然の大切さを学んでもらえた。 ・「JCもりやま塾2010」 市内の小中学生57名を対象に、下之郷遺跡で知られる古代米の田植え～収穫を通じ、自然や環境について学ぶことと同時に、郷土への思いを育む事業を行った。 5月9日～11月13日	・「野洲川冒険大会への運営協力」 ・「JCもりやま塾2011」 下之郷遺跡 古代米づくり事業 守山市下之郷の遺跡で知られる古代米（赤米）を田植えから刈り取りまで、市内小学生に体験してもらった。 日程（予定）：5月22日～11月13日	（社）守山青年会議所
啓発事業及びその他の関連事業	・たんぼのご体験事業として、水稻等の栽培体験を実施する。	たんぼのご体験事業 ・対象者 市内小学5年生 ・事業実施面積 17.8a ・参加者 市内小学校 5年生468名 ・実施時期および内容 5月下旬～6月中旬 田植え 10月 稲刈り スクール農園 市内全幼稚園、小学校にて農園を開設し栽培体験を実施 市内幼稚園 9園 市内小学校 9校	たんぼのご体験事業（予定） ・対象者 市内小学5年生 ・実施時期および内容 5月下旬～6月中旬 田植え 10月 稲刈り スクール農園（予定） 市内全幼稚園、小学校にて農園を開設し栽培体験を実施 市内幼稚園 9園 市内小学校 9校	守山市
	・地域環境に学ぶ体験・総合的学習推進事業を実施する。	総合的学習推進事業 市内全幼稚園、小・中学校にて実施 ・事業内容 水質調査、ホタル・魚の育成	総合的学習推進事業（予定） 市内全幼稚園、小・中学校にて実施 ・事業内容 水質調査、ホタル・魚の育成	守山市
	・「うぉーたんの自然体験プログラム」により、「幼児自然体験型環境学習推進事業」を実施する。	赤野井湾流域で開催実績 H18 1回 参加園 H18 4園 H20 1園	速野カナリア保育園 赤野井湾流域の幼稚園（教諭・保育士）が他地域の学習会に参加した数	県（環境政策課）
環境モニタリング	湾内のモニタリングを実施する。 ・イケチョウガイの生育調査による水質モニタリング	イケチョウガイ改良貝の垂下による成長 ・生残の追加調査 貝類餌料環境に関する水質調査	イケチョウガイ改良貝の垂下による成長 ・生残の追加調査 貝類餌料環境に関する水質調査	玉津小津漁業協同組合 県（水産課）
	・水質（内湖）のモニタリング	内湖水質調査 ・調査地点 5地点 ・調査場所 -木浜内湖釣り棧橋東端 -赤野井漁港東側の橋付近 -天神川樋門東側 -木浜内湖1号水路 -大正堀 ・調査日 7月20日、12月7日	内湖水質調査（予定） ・調査地点 5地点 ・調査場所 -木浜内湖釣り棧橋東端 -赤野井漁港東側の橋付近 -天神川樋門東側 -木浜内湖1号水路 -大正堀 ・調査日 7月、12月	守山市
	・底泥、生息生物のモニタリング	赤野井湾の水質、底質調査 ・調査地点 1地点 ・調査場所 天神川樋門沖500m 赤野井湾探検会に同行して実施 ・調査日 7月20日	赤野井湾の水質、底質調査（予定） ・調査地点 1地点 ・調査場所 天神川樋門沖500m 赤野井湾探検会に同行して実施 ・調査日 7月頃	県（水産課）
	・水質、底泥、生息生物のモニタリング	・継続実施	・継続実施予定	県（流域政策局）
	流入河川のモニタリングを実施する。 ・市内8河川の水質モニタリング	・5回/年（2.5.8.11月及び代かき時） ・約100地点で調査を継続実施 ・「身近な水環境の全国一斉調査」に継続参加	・継続実施	NPO法人びわこ豊稷の郷
・河川ウォッチング（川道内の状況のモニタリング）	第8回河川ウォッチング 11月7日 チッポリプロ織維㈱ ピオトーブ 川田里中河川 ニヶ池で実施。	・水辺百選ウォーキングに併合して実施予定。	NPO法人びわこ豊稷の郷	

	活 動 内 容	平成22年度実績	平成23年度予定	主 な 関 係 者
環境モニタリング	・市内15河川の水質モニタリング	河川水質調査 ・調査地点 19地点 ・調査場所 守山川、山賀川、石田川、法竜川、堺川、三反田川、樋ノ口川、金田井川、吉川川、江西川、三津川、ミソウチ川、野洲川右岸側水路、環境センター西側水路 ・調査回数 年6回以内(5月～3月)	河川水質調査(予定) ・調査地点 17地点 ・調査場所 守山川、山賀川、石田川、法竜川、堺川、三反田川、樋ノ口川、金田井川、吉川川、江西川、三津川、ミソウチ川、野洲川右岸側水路、環境センター西側水路 ・調査回数 年6回以内(5月～3月)	守山市
	・守山川の水質モニタリング	・新守山川及びその流域の10地点において水質調査を実施(継続実施)。 ・新守山川流域において水質調査を継続実施。	・新守山川及びその流域において水質調査を継続実施予定。 ・新守山川流域において水質調査を継続実施予定。	県(琵琶湖政策課)
	湾の水質汚濁メカニズムの調査・研究 ・湾内の水質、流況、汚濁負荷の動向等について研究を進める。 ・流域の水収支を踏まえて水質等の詳細な調査を実施するとともに、原単位法により算出した流入負荷量と比較検討を行うことにより、湾の水質汚濁メカニズムの解明を行う。 ・抽水植物など水生植物が持つ役割や水質に与える影響について調査・検討を行う。	・赤野井湾においてハス刈りを実施。(別添資料)	・次年度も実施予定	学識経験者 県(琵琶湖再生課) 地元自治会、NPO 県関係各課 守山市
環境モニタリング	モニタリング結果の集約、整理、発信 ・各関係機関によるモニタリング結果を収集するとともに、学識者の意見も参考に、結果を整理、解析して、関係者に還元する。	・「びわこ環境マップ」および「びわこ豊稷の郷」のHPにて情報発信 ・環境調査報告書(平成21年度版)を作成し、情報を発信	・「びわこ環境マップ」および「びわこ豊稷の郷」のHPにて情報発信 ・環境調査報告書(平成22年度版)を作成予定	NPO法人びわこ豊稷の郷 守山市 県(琵琶湖再生課)の連携